

☆英語科の目標

内容別
◎ 英語そのものに対して興味を持ち、親しみ、積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度を養う
◎ 言語の使用場面（自己紹介・体験談・スピーチなど）に応じて、1、2年生で学んだことも踏まえ、適切に対応する力を養う
◎ 英語の学習を通して、異なるものの考え方や文化などを深く理解させ、多くの知識を身につけさせると同時に、異なるものを認めることのできる豊かな心を養う

☆身につけたい力

観点別
・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする力
・外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現する力
・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意向などを理解する力
・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付け、その背景にある文化などを理解する力

☆学習の仕方

◎ 予習・復習をしっかりとやりましょう。
・ 予習は、①単語調べ②ワークの左上を読む③本文をノートに書く④本文の意味を確認しておく。
・ 復習は、教科書の和訳、単語練習、本文を読んで暗記する等、単語を覚え、文を書けるようにする。

☆一年間の学習

月	学習すること	学習のねらい
4	あいさつ 受動態（過去） 現在完了	○受動態（過去）を覚える ○受動態（過去）を用いて身の回りのことを表現できる
5	It is ... (for + 人) to ～ / know how to ～	○現在完了を理解し英文を作ることができる
6	It is ... (for + 人) to ～ / know how to ～	○特定の動作に対する自分の感じ方を伝える。
7	/ ask ... to ～ 道案内	○物事のやり方を知っているかどうか伝える ○他者に行動を依頼する。
9	英語でインタビュー 読解教材	○電車での目的地までの行き方を尋ねたりする表現を正しく運用する。 ○まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。
10	主語＋動詞＋目的語＋補語 間接疑問文	○＜主語＋動詞＋目的語＋補語＞で表される表現や間接疑問の用法を正しく身につけ、運用する。
11	現在分詞の後置修飾/ 過去分詞の後置修飾 関係代名詞（主格）who ／which／that	○後置修飾の用法を正しく身につけ、運用する。
12	関係代名詞（目的格） which／that／省略	○関係代名詞（主格・目的格）の表現を正しく身につけ、運用する。
1	読解教材	○まとまりのある英文を読んで、内容を理解する
2	スピーチ	○既習事項を用いて原稿を作成し、自分自身についてアピールする。
3		

☆評価方法・評価規準

観 点 別 評 価	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業態度、言語活動への意欲、発表・課題への取り組み状況、提出物（ノート・ワーク）の状況等
	表現の能力	定期テスト、会話テスト、音読、提出物（英作文）等
	理解の能力	定期テスト、音読、読み物、リスニング等
	言語や文化に対する知識・理解	定期テスト・小テスト等